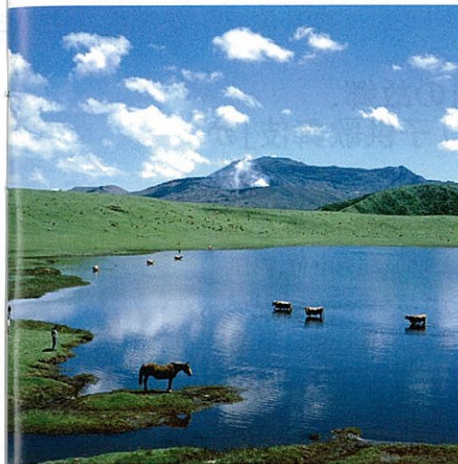




野焼きは早春の阿蘇の風物詩。これによって、何百年の間、草原の環境は守られてきた。

阿蘇の草原は、地元の人たちが草を利用して牛馬を飼うために手入れしてきた自然環境だ。



水が毎分30トン、最後は遠く別府湾に注ぐ。水源一帯は緑に包まれ、白川水源には水を護る神社が建つが、阿蘇でははるかな昔から人々の手で水源の環境を守る取り組みも続けられてきた。有名な阿蘇の野焼きもそのひとつだ。実は広大な阿蘇の草原は、平安時代以来地元の人たちが手を入れ維持してきた自然環境なのだ。清らかな水は火の山の恵み。そして水と火山とくれば、「温泉」だ。熊本は温泉の宝庫で、有名な黒川温泉をはじめとする温泉地だけでなく、素朴な湯や秘湯の雰囲気漂う一軒宿や浴場も数多い。阿蘇山麓にあるユニークな温泉では、希少な泥湯「すずめの湯」で有名な地獄温泉、そして湧蓋山麓の6つの温泉からなるわいた温泉郷などがある。わいた温泉郷は、旅館から立ち寄り湯までバラエティ豊かかつ庶民的ムードでちょっとしたブームを呼んでいて、コインを入れると浴槽にどつと湯が注がれる貸切風呂が人気だ。珍しい天然の青い湯もあるので、温泉ファンならずとも、ぜひどうぞ。

火の国熊本。実は水の国でもあるんです！

実は、熊本は名にしおう湧水王国。日本名水百選には昭和に4カ所、平成に入って4カ所、計8カ所が選定されている。これは富山と並んで日本一！この豊富な湧水は阿蘇山がもたらしている



白川水源。阿蘇を代表する湧水で、吉見神社の緑が清々しく、あたりには夏もひんやりと涼気が漂う。



菊池川の源をなす菊池溪谷。湧き出る水が清冽な流れを作り、四季折々の自然美を見せる。秋は紅葉の名所だ。



わいた温泉郷では至る所から蒸気が噴出している。この蒸気を利用した料理も名物だ。